

令和2年度 第1回大和市協働推進会議 会議要旨

1. 日 時 令和2年6月24日（水）午後1時30分～午後2時20分
2. 場 所 大和市役所5階 第6会議室
3. 出席者 大和市協働推進会議委員7名
市民経済部長、事務局3名（市民活動課長、他2名）
4. 公開非公開の別 公開
5. 傍聴人数 なし
6. 議事

(1)開会

(2)市長あいさつ

市長から会長に対して諮問が行われた。

(3)会長あいさつ

(4)委員自己紹介

(5)議題

ア 審議方法、審議スケジュールの確認

令和2年度協働事業等提案募集要領に従い、審議方法について事務局から説明。

令和2年度審議スケジュールについて、事務局から説明。

イ 協働事業提案の審議

令和2年度協働事業提案一覧に基づき、各提案事業の内容について事務局から説明。

審議内での質疑応答等は以下のとおり。

【大和市民活動センターの管理運営】

委 員：今回の継続にあたり行政側の提案に変更点などはあるか。

事務局：特にない。安定的な運営についての検討は引き続きしてもらう内容になっている。

委 員：費用的にみると、団体側の費用が若干増えている。事業者側の提案で工夫されている点など気がついた点はあるか。

事務局：団体側の内容について事務局側からのコメントはまだできない。

委 員：今回のコロナウイルスの件で、印刷機などの使用料収入が下がってしまい、団体負担金が増えるのではないか。最終的に相殺できるようなことはあるか。

事務局：印刷機など使えない状況にはなっている。利用中止に対しての補填は考えていない。

委 員：部室を使つての市民活動支援というのは大和市ならではの、良い点や課題などを聞きたい。

事務局：30年4月に開館して2年たち、51室ほぼ満杯の状態になっている。引き続き安定的に使っていただけるような工夫が必要であると考えている。団体間の交流という内容を視野にいれながら、市民活動センターと情報共有をしていきたい。

委 員：いろんな部署が集まっていて連携が組みやすい。そういう部分を十分に活用して、もっと交流ができるような事業を考えていったらいいのではないか。

事務局：様々な団体との交流について拠点やまとも情報共有図って行っていきたい。

委員：協働事業活動報告書に、移転後課題が見えてきた中で課題解決に向けて事業者と解決することができたとあるが、どのような課題をこの3年間でどのように解決してきたのか。次期3年に対して何か考えがあれば。

事務局：元年度までは部室の51室が埋まっておらず、本市としては満室にすることを目標にやってきた。その中で、各団体間の情報共有をどのように行っていくかということが課題となった。分野ごとの交流会や、市民活動センターを介しての打ち合わせなどを検討していくことを課題としてとらえている。

委員：昨年ベテルギウスでプレゼンテーションをやった時に、冷房施設がききにくく、冷風機を置いてもらった。管理は行政側でやっているのか。

事務局：ベテルギウス全体の管轄はこども部で全館空調だが、冷風機は市民活動センターが用意した。そのような備品の費用は市民活動センター。

委員：事業内容に市民活動の情報の収集とあるが、部室の利用団体へのアンケートなどを情報の収集として検討したらどうか。また、シルバー人材センターやこども部などの部署が入っているので、連携して何か一緒にできたらいいのではないか。

事務局：要望として承る。

委員：企業が使えるブースとの連携も考えられるし、今年度から新しい生活様式を考えなくてはいけないかと思う。アフターコロナに対応した交流の形を提案いただけることを期待したい。

事務局：起業するための準備段階で入っていただいている団体が5部屋あり、現状では満杯。ベテルギウス祭りなど、所管団体が共有できるようなものが芽生え始めているところ。今後は密を避けなければならないという部分も踏まえながら進めていかなければならないということは認識している。

(6)その他

今後のスケジュールについて事務局から説明

6月27日 11時から第2回協働推進会議開催

(7)閉会

以上